



いわた じょうじ
岩田 譲治

質
問
QUESTION

どうする？ 老朽化の進む町営住宅を！

回
答
ANSWER

早急に町の方角性を出していきます

〔建設課長兼SIC建設推進室長〕

質問 北今ヶ淵地内の町営住宅は、昭和50年〜52年に建設された3棟24戸で、40年が経過し、その間大きな改修や耐震工事はされず、老朽化が進んでいます。今後の対応は？

回答 町営住宅の家賃収入は年間350万円程、維持費は200万円程を要しています。最近では、ガスパ交換など頻繁に老朽化対策工事を行なっていますが、特に、心配なことは耐震化の問題です。

耐震化対策の必要性はひしひしと感じていますが、耐震化工事をすれば、建て替えと同等か、それ以上の費用が必要となります。このような状況の中、今後は空家対策等と連携を図り、町営住宅居住者の移住を視野に入れ、町営住宅廃止を含め早急に町の方角性を出していきます。



老朽化が進む町営住宅（北今ヶ淵地内）

回
答
ANSWER

質
問
QUESTION

待ったなしの「道の駅」構想は？

にぎわいの町づくりを目指し、検討中です

〔企画調整課長〕

質問 平成24年8月に安八町6次産業化推進検討会が設置されました。この会では、

新鮮野菜等の生産・販売、特産品の開発、直売所などについて、町長をはじめ、生産者代表、商工会関係者、農産物の加工代表者、そして行政関係者が加わり検討されました。

回答 スマートICを活用した産業の集積や、にぎわいのある町づくりを目指し、町内への流れを呼び込む集客の向上に向けた検討を進めています。

しかし、その後の動きはなく、町の第五次総合計画に記されている「道の駅」構想の行方にも影響が出ると思っています。高規格道路やスマートICの建設も着々と進んでいる中、それに合わせた「道の駅」整備は待ったなしのイメージは採算性が難しい問題があり、他の施設、機能との連携を図り、町の産業の振興など、相乗効果が発揮できる体制を築きたいと考えています。